

Microcare[®]／マイクロケア[®] Emollient PTGJ

安全データシート



1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	Microcare [®] ／マイクロケア [®] Emollient PTGJ	
供給者の会社名称	ソー・ジャパン株式会社	
住所	〒595-0061 大阪府泉大津市春日町 19 番 17 号	
電話番号	0725-22-7907	
ファクシミリ番号	0725-22-7912	
電子メールアドレス	main@thorjapan.co.jp	
緊急連絡先	+49-621-60-43333	年中無休 24 時間対応(英語、ドイツ語)
	0725-22-7907	月～金 9:00～17:00 対応(日本語)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類	危険有害性クラス	区分
物理化学的危険性	2.1 爆発物	- 区分外
	2.2 可燃性・引火性ガス	- 分類対象外
	2.3 可燃性・引火性エアゾール	- 分類対象外
	2.4 支燃性・酸化性ガス	- 分類対象外
	2.5 高压ガス	- 分類対象外
	2.6 引火性液体	- 区分外
	2.7 可燃性固体	- 分類対象外
	2.8 自己反応性化学品	- 区分外
	2.9 自然発火性液体	- 区分外
	2.10 自然発火性固体	- 分類対象外
	2.11 自己発熱性化学品	- 区分外
	2.12 水反応性可燃性化学品	- 分類対象外
	2.13 酸化性液体	- 区分外
	2.14 酸化性固体	- 分類対象外
	2.15 有機過酸化物	- 分類対象外
	2.16 金属腐食性物質	- 区分外
健康に対する有害性	3.1.O 急性毒性(経口)	- 区分外
	3.1.D 急性毒性(経皮)	- 区分外
	3.1.I 急性毒性(吸入)	- 分類できない
	3.2 皮膚腐食性・刺激性	- 分類できない
	3.3 眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	1
	3.4.S 皮膚感作性	- 分類できない
	3.4.R 呼吸器感作性	- 分類できない
	3.5 生殖細胞変異原性	- 分類できない
	3.6 発がん性	- 分類できない
	3.7 生殖毒性	- 分類できない
環境に対する有害性	3.8 特定標的臓器単回ばく露	- 分類できない
	3.9 特定標的臓器反復ばく露	- 分類できない
	3.10 吸引性呼吸器有害性	- 分類できない
	4.1.A 水生環境有害性急性	- 区分外
	4.1.C 水生環境有害性長期間	- 区分外
	4.2 オゾン層への有害性	- 区分外

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H318

重篤な眼の損傷。

注意書き	【安全対策】 P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
	【救急処置】 P305+P351+P338 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
	P310 ただちに医師に連絡すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質

化学品名	濃度範囲	CAS No.	化審法番号
ペンチレングリコール(PTG) [アルカン(C=5~22)ジオール]	100%	5343-92-0	2-240

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移してください。気分が悪くなった場合には医師の診療を受けること。
皮膚に付着した場合	即座に水と石鹸で十分洗い流すこと。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 ただちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 吐くようにしむけずに、直ちに医師の診療を受けること。 意識がない場合、何も食べさせないこと。 医師の診療を受けること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	特になし。
応急措置をする者の保護	特になし。
医師に対する特別な注意事項	眼に入った場合、生理食塩水で完全に眼を洗浄すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水噴霧、粉末消火剤、炭酸ガス、泡消火剤など。
使ってはならない消火剤	特になし。
特有の危険有害性	火災時に、一酸化炭素(CO)等の有毒ガスが発生する事がある。
特有の消火方法	特になし。
消火を行う者の保護	自給式呼吸具を使用すること。
追加情報	特になし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には必ず保護具を着用すること(8項 ばく露防止及び保護措置参照)。 保護具を着用していない人を近づけないようにすること。 保護具を選ぶ際は皮膚や粘膜を間違いなく完全に保護できるようなものを装着すること。(不浸透性保護布、ネオプレン製の長靴、顔面保護具、ニトリルゴム製の長手袋)
環境に対する注意事項	水生環境に対し有害なので地表水に流出させないこと。 被害が広がらないようにすること(例:化学吸収剤で囲む) 廃水処理なしでは排水しないこと。 河川や下水道に流入した場合には関係当局に連絡すること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	汚染物はできる限り適切な容器に回収すること。残った汚染部分は吸収剤を被せ、よく吸収させた後、回収すること。 適切な吸着剤:多用途吸収剤 汚染物の廃棄は[13項 廃棄上の注意]に従い処理すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策	作業場所では換気を十分に行うこと。 できる限り密閉された設備で取り扱うこと。
安全取扱注意事項	別の容器に注ぐ場合には、液体がはねないように注意すること。 作業における安全衛生の危害は、化学品によるものだけでなく、作業場所の設備などにも関連することから、このような危害についても対処すること。

	接触回避	特になし。
	爆発・火災防止	特になし。
保管	安全な容器包装材料	特に指定なし。
	安全な保管条件	二次汚染防止設備を設置し、汚染防止措置を設定し、環境に排出させないようにすること。 湿気、水気を避けること。

8. ばく露防止及び保護措置

暴露防止措置	許容濃度	資料なし。
	設備対策	[7.取扱い及び保管上の注意]参照
人体の保護	作業時の注意	皮膚を保護するため、保護クリームを塗ること。 眼に付着しないようにすること。 作業中断時や作業終了後は手を洗うこと。 皮膚を保護する措置を講じること。
	呼吸用保護具	不必要
	手の保護具	耐薬品性手袋を使用すること(DIN EN 374 準拠 / CE マーク)。 穴、破断などの損傷がないか、作業毎によく確認すること。 必要以上に長く保護手袋を着用しないようにすること。 手袋使用後は手洗い用の石鹸などで洗浄し、ハンドクリームを使うなどして手荒れを防ぐこと。 適切な手袋の素材: ニトリルゴム、NBR 浸透破過時間 480 分以上(ニトリルゴム、0.4mm 厚さ、浸透度 6、23℃) 不適切な手袋素材: 物理的保護手袋は耐薬品用手袋としては適さない。
	眼の保護具	安全ゴーグル
	皮膚及び身体 の保護具	保護衣
	危害管理	作業者に対して適切な作業手順を訓練すること。 安全管理者などによる作業場の監査を定期的に行うこと。

9. 物理的及び化学的性質

外観	物理的状態・形状	液体
外観	色	無色
臭い		無臭
臭いの閾値		安全性とは関連しない
pH (20℃)		7~8
融点・凝固点		約 -30℃
沸点		206℃
引火点		105℃
蒸発速度		非該当
燃焼性(固体、気体)		非該当
爆発範囲		下限 1.7 Vol% 上限 9.3 Vol%
蒸気圧(20℃)		非測定
蒸気密度		非測定
密度(20℃)		0.966-0.976 g/mL
溶解度		水:完全に溶解する
n-オクタノール/水分配係数		-0.28
自然発火温度		380℃
分解温度		非測定
粘度		非測定

10. 安定性及び反応性

反応性	現在のところ、別の化合物との危険な反応は知られていない。
避けるべき条件	規定通りの保管条件では分解しない。
保証期間(製造後、20℃保管時)	24ヶ月
危険有害反応可能性	特になし。
混触危険物質	特に知られていない。

11. 有害性情報

危険有害性クラス	区分	区分理由
3.1.O 急性経口毒性	区分外	LD50 >2000 mg/kg であり、区分 4 の上限 2000mg/kg を超えるため、区分外とした(社内資料)。
3.1.D 急性経皮毒性	区分外	LD50 >2000 mg/kg であり、区分 4 の上限 2000mg/kg を超えるため、区分外とした(社内資料)。
3.1.I 急性吸入毒性	分類できない	資料がないため分類できない。
3.2 皮膚腐食性及び皮膚刺激性	分類できない	資料がないため分類できない。
3.3 眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性	区分 1	眼に対して強い刺激性有り(社内資料)。
3.4.S 皮膚感作性	分類できない	資料がないため分類できない。
3.4.R 呼吸器感作性	分類できない	資料がないため分類できない。
3.5 生殖細胞変異原性	分類できない	資料がないため分類できない。
3.6 発がん性	分類できない	資料がないため分類できない。
3.7 生殖毒性	分類できない	資料がないため分類できない。
3.8 特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない	資料がないため分類できない。
3.9 特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない	資料がないため分類できない。
3.10 吸引性呼吸器有害性(3.10)	分類できない	資料がないため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性		
急性水性毒性	EC50 48h	>500 mg/L ミジンコ
	EC50 72h	>500 mg/L 藻
	LC50 96h	>500 mg/L 魚
残留性・分解性	PTG: OECD 302B(活性汚泥試験: Zahn-Wellens-Test 28 日間 COD 分解)において分解率 90%以上。下水設備において容易に分解される。OECD 301B(活性汚泥試験: 改良シュトルム試験)において生分解性あり。分解率 90%以上。	
生体蓄積性	PTG: Log Kow -0.28。生態濃縮の可能性は低い。	
水生環境有害性-急性(4.1.A)	区分外	区分3の上限值 100mg/L を超えているため区分外とした。
水生環境有害性: 長期間(4.1.C)	区分外	区分3の上限值 100mg/L を超えていること、生体蓄積性が低いことから、区分外とした。
土壌中の移動性	資料なし	
オゾン層への有害性	モンリオール議定書の付属書に列記された物質は含んでいない。	
下水処理施設での挙動	汚染水が通常の排水処理方法で下水系に混入した場合、活性汚泥中の微生物に悪影響を与えることはないと推測される。	
蓄積性有機ハロゲン化合物(AOX)	PTGJ: EC20 / 0.5 h > 1000 mg/l (活性汚泥)	
重金属(欧州 2006/11/EC)	排水の AOX 値を増加させる物質は含んでいない。	
注意事項	なし	
	環境に排出しないこと。	

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	公的規制に準拠し認可された危険廃棄物処理施設で処理するか、もしくは都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物業者に委託すること。
汚染容器	容器を完全に空にし、適切に洗浄することで再利用可能。 水で洗浄すること。必要ならば洗剤を用いること。

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号:	なし

品名: 陸上輸送 ADR なし
海上輸送 IMDG
航空輸送 IATA
国連分類: 陸上輸送 ADR なし
海上輸送 IMDG
航空輸送 IATA
容器等級: なし
その他の情報:
海洋汚染物質 非該当
使用者への注意事項 非該当
特記事項 国連勧告に基づいた場合、輸送上の危険物質ではない。
国連勧告 -

15. 適用法令

国内規制

安衛法 表示対象物質	非該当
安衛法 文書交付対象物質	非該当
化審法 第1種特定化学物質	非該当
化審法 第2種特定化学物質	非該当
化審法 監視化学物質	非該当
化審法 優先評価化学物質	非該当
化管法 第1種指定化学物質	非該当
毒劇法 毒物・劇物	非該当
消防法	危険物 第4類第3石油類 水溶性

16. その他の情報

記載内容は現在入手できる資料や情報などに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質などの資料を保証するものではありません。また、適宜改訂をすることがありますのであらかじめご了承ください。

本製品の使用に関しては、ご使用者各位の責任において安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。また、特別な取扱い方法を実施する場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上でご使用ください。

参考資料

Microcare Emollient PTGJ Safety Data Sheet (Thor GmbH) Version number 9, 2012.12.19

その他社内資料

JIS Z7252 2014 GHSに基づく化学物質等の分類方法

JIS Z7253 2012 GHSに基づく化学品の危険有害情報性の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全資料シート(SDS)

化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS) 改訂4版

CLP 規則 (EC) No 1272/2008

GHS 関係各省実施事業「GHS 分類結果関連情報」NITE 化学物質管理センター公表結果
